

**ケース・スタディ: 英国物理学会出版局
オープンアクセス構想のレビュー(1998-2007)**

英国物理学出版局
ジャーナル、アシタント・ディレクター
トニー・オルーク

ALPSP トレーニング・セミナー 2008年1月18日 東京
tony.o'rourke@iop.org

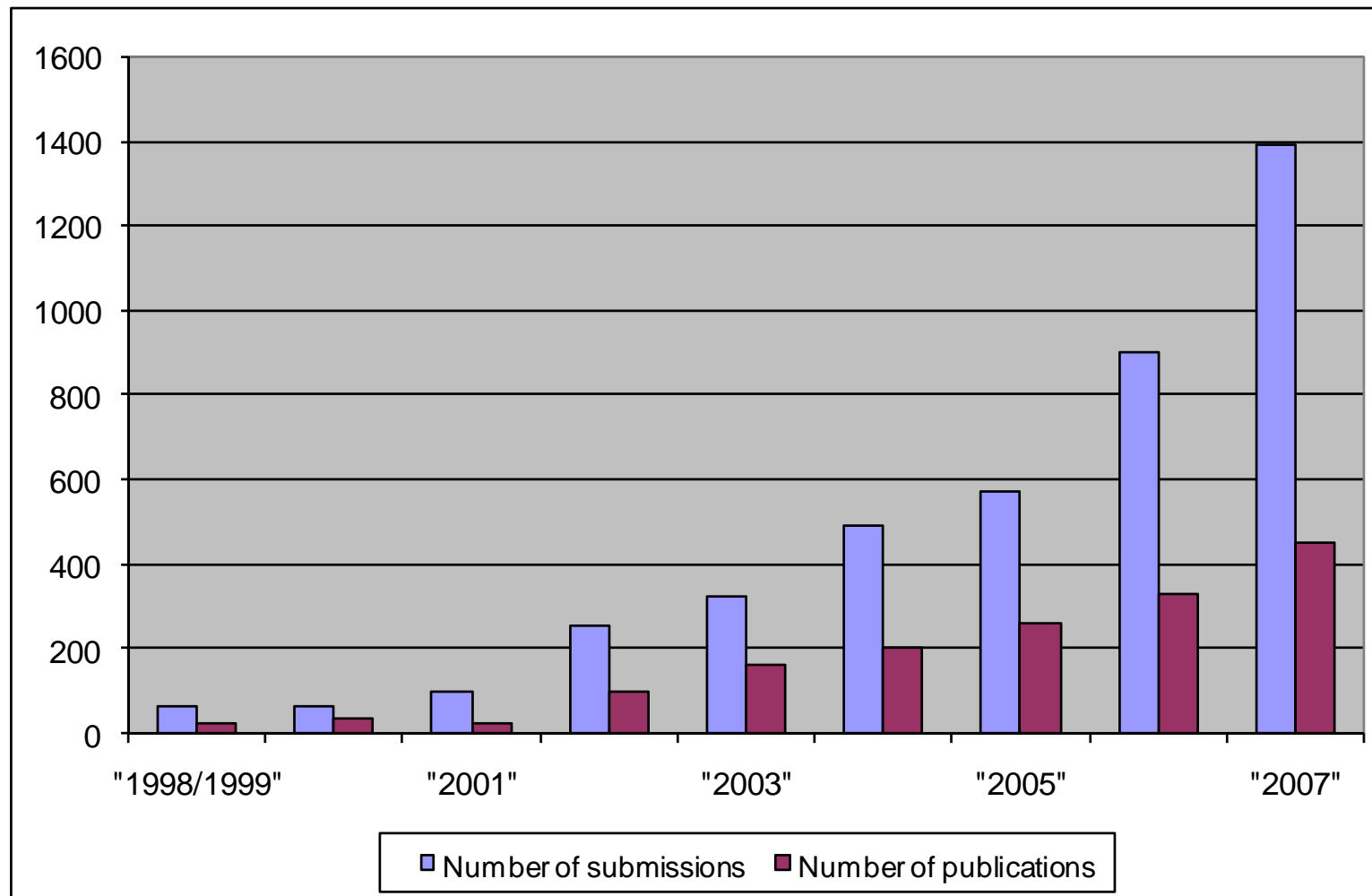
オープンアクセス出版

- 刊行主体学会のための資金調達モデル
 - 100% 購読者支払い
 - 100% 著者支払い
 - ハイブリッド・モデル
 - 著者と購読者による支払い
 - 著者にとっての利点

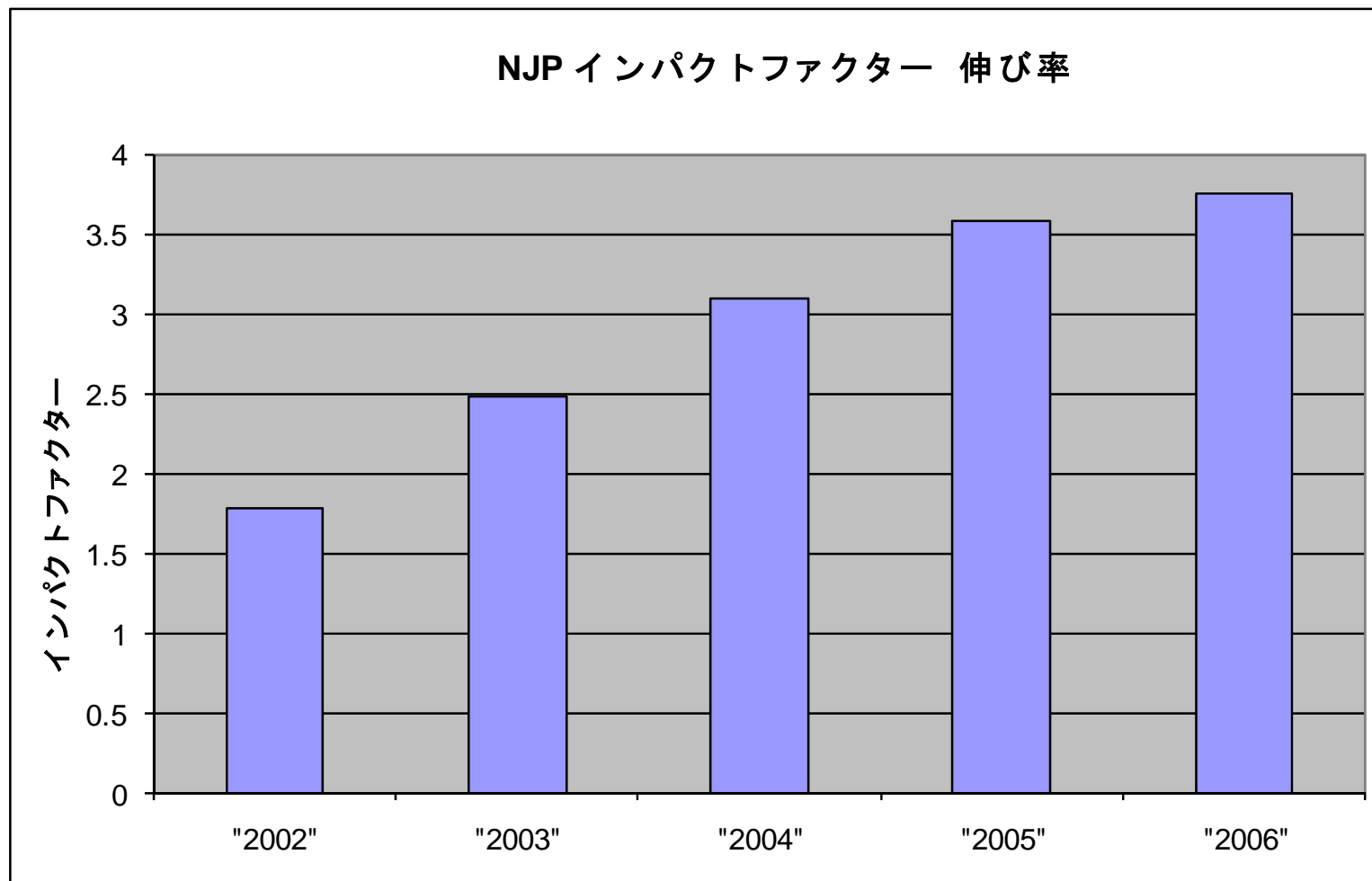
英国物理学会出版局とオープンアクセス

- 1998年よりオープンアクセス・ジャーナル
- New Journal of Physics
- 科学系ジャーナルの中で最初にオープンアクセスとなったものの一つ
- オープンアクセスの歴史が最も長いジャーナルの一つ
- NJP: 採択論文一報について \$ 1,280
 - Environmental Research Letters: \$ 1,970

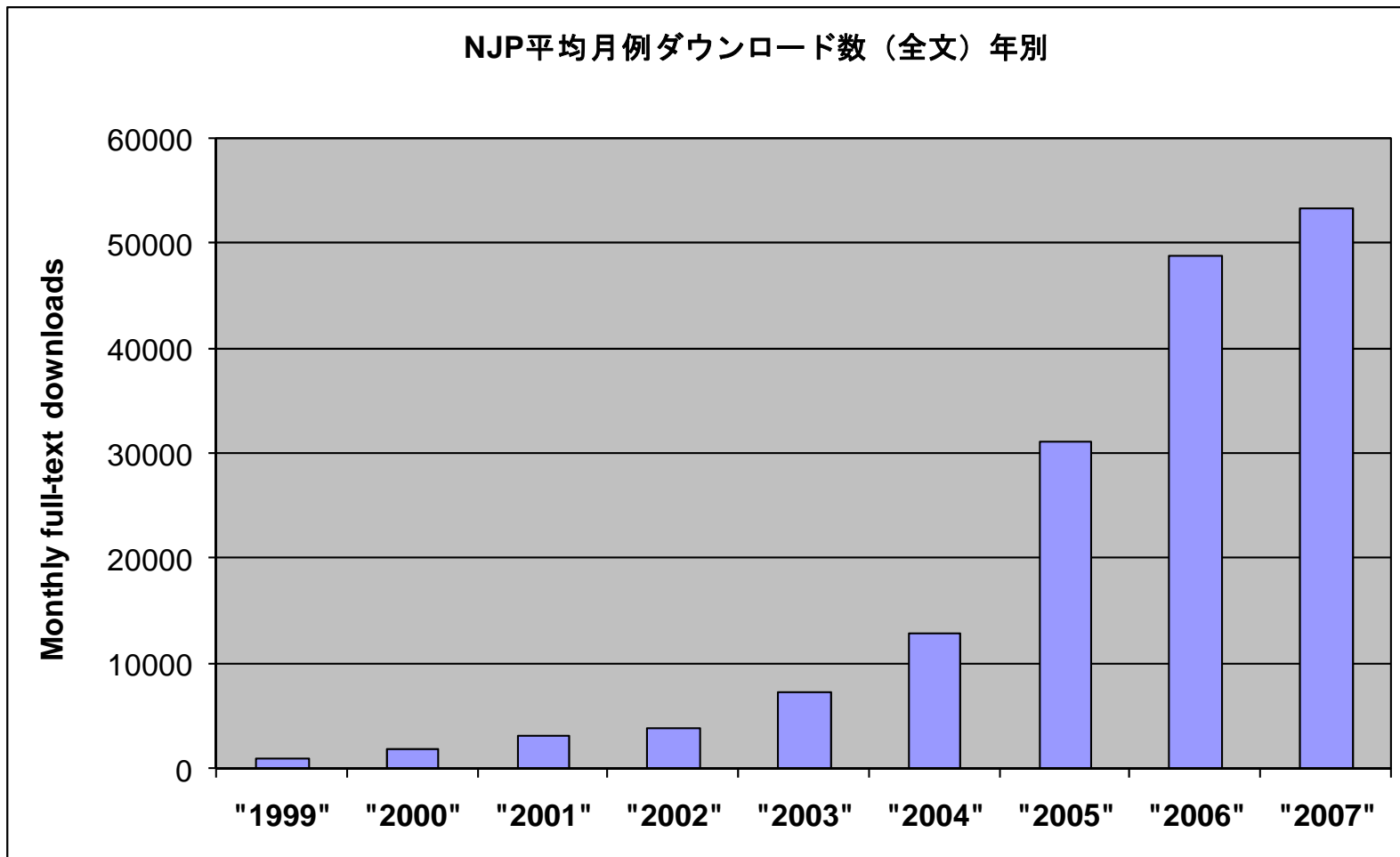
NJP: 投稿数と掲載数



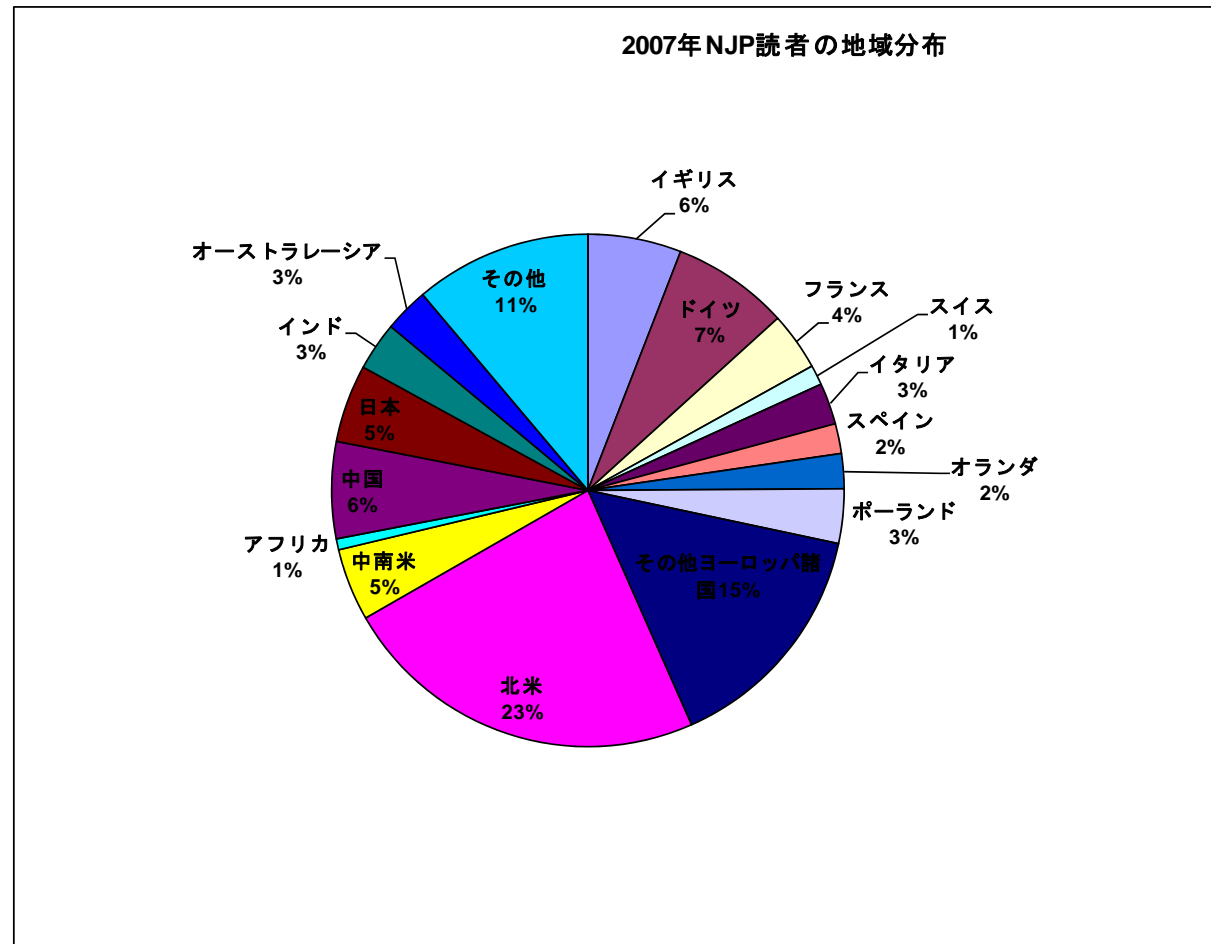
NJP:インパクトファクター



NJP:利用量

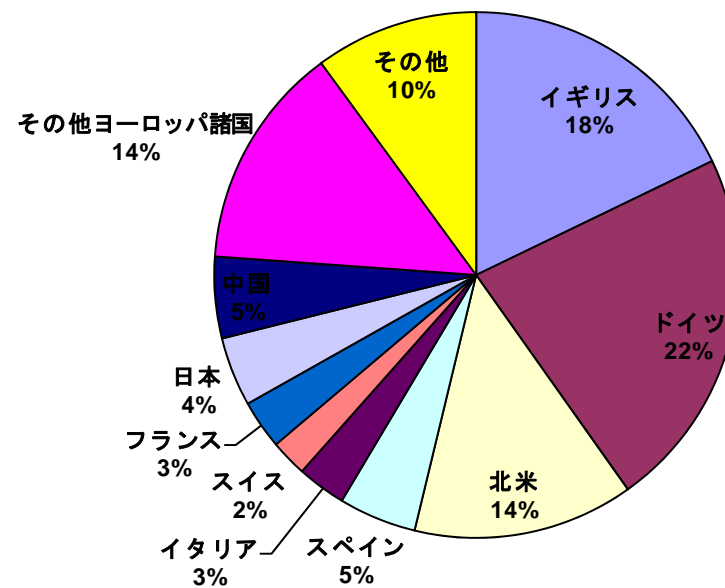


NJP:国際的な読者層



NJP: グローバルな著者層

2007年NJP著者層の地域分布



ではそもそも、何が問題なのか

- 持続可能性
- 長期投資
 - ジャーナルの運営費用
 - 学会と協働する専任の出版者 (PhDを持つ物理学者)
- 学術コミュニティ(学界)からの支持
- 他ジャーナルへの影響

NJP:ひとつの成功事例

- 現在、ジャーナルによる収益が、出版費用をカバーしている
- 物理学系の中で最も高いインパクトファクター
- 高品質な一流ジャーナルとして確立
- 世界レベルの著者
- IOPが出版するジャーナルのなかで、トップ3ダウンロード数の一つ
 - 2007年: 20,000回以上、全文ダウンロードされた論文がある

オープンアクセス

- **Environmental Research Letters**
 - 2006年創刊
 - 2007年第1四半期に最初の著者負担論文
 - 一流の編集委員会
 - 財政的実行可能性
- **Science and Technology of Advanced Materials**
 - 物質・材料研究機構(筑波)
 - 2007年までエルゼビア社から出版
 - 英国物理学出版局よりオープンアクセス・ジャーナルとして、出版

その他のイニチアチブ

- SISSA トリエステ、イタリア
 - 国際先端研究所
- 4タイトル
 - JHEP
 - 100%無料 1997-2002
 - JCAP, JSTAT, JIST
- 機関会員費
 - 費用支払いなしの購読を含む
 - 出版のための年間コストをカバー
 - これらの研究機関から出版されたすべての論文を無料で読者に提供

要約

- オープンアクセスはリスクを伴う
- オープンアクセスは高価
- 成功を保証するものはない

- しかし・・・
- うまくいくこともある！
 - 十分な資金と忍耐力が必要とされる
 - 適切に資源配分されないといけない

-
- ありがとうございました。